ブックスタート実施要項

１．目的

絵本は赤ちゃんが初めて出会う“本”です。

絵本を通して赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間をつくり、親子の絆が一層深まることを願い、子育てを地域の連携によって応援するため、保健福祉総合センターで実施される赤ちゃん相談の参加者に対し、情報館職員や保健師・ボランティアが協働で「赤ちゃんと絵本を開く時間の喜びや大切さ」などのメッセージを直接伝えながら「ブックスタートパック」を配布します。

この「ブックスタート」事業が赤ちゃんのためだけではなく、地域社会全体にこころの通い合う人間関係を築くことを目指します。

(1) 手渡された絵本が家庭で親子の共有する時間をつくりあげ、親と子、大人と子どもが絵本を通して触れあうきっかけを促します。
(2) 親子が共通の絵本体験を持つことで、心健やかな成長を期待し、保健福祉総合センター（あみか)、読み聞かせボランティアなどの協力を得て、子育て支援に関する様々な情報と機会を提供します。
(3) 地域の人々が子育てに積極的に関わっていることを意識し、子育てをみんなが支えていることを理解してもらいます。

２．実施時期

保健福祉総合センター（あみか）で毎月一回行われる、ブックスタートパック配布対象者の赤ちゃん相談日から実施します。

３．ブックスタートパック配布対象者

保健福祉総合センター（あみか）が実施する４ヶ月児の赤ちゃん相談を受診する乳児とその保護者です。

４．配布する内容

(1) 「絵本２冊」と「絵本を入れるバッグ」、その他、厚岸情報館が用意するガイドブックや利用案内、個人貸出申込書など。
(2) 保健福祉課が用意する配布物。

５．フォローアップ

(1) 情報館などを会場に親子を対象とした絵本の読み聞かせを中心としたお話し会を開催します。
(2) 乳幼児を対象にした絵本の収集に努め、読書環境の充実に努めます。
(3) 「乳児を持つ親子に身近な図書館」を目指し、親子を温かく迎える雰囲気と施設の整備充実に努めます。
(4) 絵本を通し子育て支援の推進を図るため、関連機関・団体との連携を深めます。
(5) 「ブックスタート」の効果・成果を検証し、今後の事業展開に役立たせます。